

岡山歯会報



昭和30年代の鴨方往来



酒井新会長 就任挨拶

「本会の唯一無二、かけがえのない財産は会員」 〈p1〉

小林前会長 インタビュー

野に帰り，群れて咲きたや れんげ草 〈p2〉

「県歯新共済」事業スタート

知らないと損しますヨ！ 〈p24〉

異彩なこの人

「この木なんの木・・・」 〈p28〉

2006 4 vol.711

目 次

巻頭言 ご挨拶	岡山県歯科医師会 新会長 酒井 昭則	1
小林前会長 2期6年を振り返って		2
Open the 理事会		5
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー (20)		10
天上大風		15
学術部 平成16・17年度日歯生涯研修事業(第3期)報告		16
感染予防講習会後記		18
Book review		20
医療管理部 報告		23
お知らせ 日曜・祝日の開館予定日(4月・5月)		23
厚生部 共済事業部会 4月より共済給付事業が「県歯新共済」としてスタートします!		24
県歯新共済		24
日本歯科医師会福祉共済制度のご案内		25
文化事業部会		26
異彩なこの人		28
リレー随筆 「小さな!大いなる?挑戦」	岡山支部 曾我 卓也	30
同好会だより 第26回全日本歯科医師テニス大会開催のお知らせ		31
こちら編集室		31
訃報		32
会員異動		32
お知らせ 岡山大学歯学部からのお知らせ「特別講演のご案内」		32
事務局だより 4月の収納金		33
2月 会の動き		33
4月・5月 本会の予定		34
4月・5月 支部の予定		34

<http://www.odanet.org>.

■題 字 岡山支部 三浦 晰 先生

■表紙写真 「庭瀬街道(鴨方往来)」(昭和30年代と現在) 都窪支部 矢尾尚武 先生

鴨方往来は江戸時代庭瀬藩の城下町の街道です。今でも存在する庭瀬城があり、その起源は戦国時代三村一族の出城として築かれたということです。江戸時代始めに戸川氏の入城から幾多の変遷があり、板倉氏が1690年に入城し幕末まで続きました。現在は古い家は少なくなりましたが、今でも古くから続く家が多く、昔のなごりを残しています。

ご 挨 拶



岡山県歯科医師会

新会長 酒 井 昭 則

多くの会員皆様からのこの度の心強いご支援は、私にとりまして一步を踏み出す大いなる勇気となりました。誠に光栄に存じますと同時に責任の重さに身が引き締まる思いでおります。

本会にとりまして初の全員選挙でありましたが、この選挙の本質は、本会のさらなる民主化への一つのステップ、試金石であるべきと考え選挙戦に臨みました。粛々とクリーンな選挙活動が展開され将来の規範となるような選挙戦であったと確信いたしております。会員各位から賜りましたご厚情、ご支援に改めて感謝申し上げます。

ありがとうございました。訴えてまいりました「本会の唯一無二、かけがえのない財産は会員」を礎石に誠心誠意、努めてまいる所存でおります。

先生方のご意見、ご提言を心耳で聞き、まなごしを謙虚に受け止め、いかなる荒波、疾風にも臆することなく会員各位の権益擁護をしっかりと胸に刻み、驕ることなく精励する所存でおります。

また、前執行部での6年の実績、経験が必ずしも今日そして明日の成功に繋がるとは考えておりません。過去の成功体験に埋没しては断じてならない。常に改善そして創造、高い志とひるまず立ち向かう気概、自分の人生のすべてを傾注して邁進する所存でおります。

何とぞ会員各位の温かいご指導、ご叱正を賜りますようお願い申し上げ就任のご挨拶と致します。

小林前会長 2期6年を振り返って

日時 2月28日(火) 21時

場所 県歯会長室

公約であった全会員による次期岡山県歯科医師会長直接選挙を終え、6年間の任期を残り1ヶ月とされた小林県歯会長を訪問いたしました。6年前と3年前に行われた支部訪問の後、各支部モニターより県歯へ寄せられた質問を考慮し、現在の心境についてインタビューさせていただきました。



【インタビュー】

□ 6年間の執行を振り返って現在の心境は？

6年間やりまくったという感じです。思ったことはだいたいやりきれて感謝と満足感で、「本当に幸せな星の下に生まれた人生だな」と思いますが、忸怩たる思いもあります。

この6年間、荒削りですが**五本の柱**ができたと思っています。いずれも、これから先県歯が存在する限り継続してゆかなくてはならない柱だと思います。

五本の柱

1 レベルアップ講習会

歯科医師として、また人として人生全てのレベルアップに繋がるとしています。

2 会長選挙

午前中の雨にもかかわらず88.5%という高い投票率を得たことは、関心の高さの現われだと思われます。これからも全会員による直接選挙により素晴らしいリーダーを選んで戴きたいと願います。

3 ブランチプロジェクト

地域住民からの信頼と口腔保健の向上に繋がり、良質な歯科医療を提供することにより、経営基盤の安定にも資するものと信じております。

4 衛生専門学院三年制移行について

県下の衛生士学校の手本となるべく移行できたことは、執行部を始め会員の先生方のご支持の賜物と思います。立派な衛生士を育てて戴きたいと思います。

5 中規模県歯科医師会連合会の結成

平成17年8月18日、志を同じくする中規模県歯科医師会（会員数1,000人前後の県）の会長が相集い共助、自彊、併せて現下の混迷する歯科界の黎明を希求し、ひいては日本の歯科医療の向上に資するのを目的として結成し、これを軌道に乗せ2月23日に2回目の会議を無事終えました。成長し日歯にも大きな影響力を持ってくれる事を熱望しております。

□歯科医師会館改修工事について

まず雨漏りが起こり、それを補修していく内に次々に悪いところが見つかりました。アスベストの問題もあり、結局大掛りな改修工事になりましたが、他県に比べあまり見劣りしないものになったと思います。これから先、20年30年間は大丈夫と思われます。また警備保障も導入し安全面を向上させました。

□予算・決算報告の透明化について

何時でも開示しますのでご覧になっていただければ結構です。書式を変えて具体的に内容を明示したことによって監事の先生にも見やすくなったと好評です。

□第69回全国学校歯科保健研究大会について

過去68回の内、岡山県では一度も行われていませんでした。今回初の主催でしたが参加の先生方より多くの賛辞を戴きました。広報部の先生のおかげで立派な大会誌もでき上がりましたし、なによりも手伝ってくださった衛生専門学院の学生さんの接客態度のすばらしさに他県の先生からお褒めの言葉を戴けたことは、主催者側といたしましても大変誇らしいことでした。

本当に会がひとつになり、皆で作り上げる気持ちが盛り上がって良かったと思います。……感謝いたします。



□次期会長及び執行部に望むこと

最初に話しましたように五本の柱はまだ荒削りですので、この柱をもっと大きく成長させ仕上げていただきたい。6年間専務理事として嫌な顔ひとつせず二人三脚で共に走り、私の路線を引き継ぐと言ってくれた酒井次期県歯会長ならば必ずやってくれるものと確信しております。

また、日歯の副議長を仰せつかり3年間で知り合った方々との強い信頼関係は、私の財産であり岡山県歯科医師会の財産です。次期の会長にこの信頼の財産を残し、私は会の外から一会員として見守りたいと思っています。



□最後に6年間の総括（やり残したことがあれば？）

苦しい時代に開業され入会して下さった若い先生方の手助けをもっとやりたかった。一生懸命にやっていたつもりですが、社会情勢に翻弄されあまりお役に立てなかったと思います。これが慚愧の念として私の心に深く噛みついております。ご容赦賜り度いと思います。

警察歯科医会の活動、マウスガードの提供などを始めとし、各部署で己れを捨てご協力下さった皆様に、有難い想出を辿りながら真心よりお礼を申し上げます。

千余名の会員の皆様には本当に幸せで楽しい6年間で、人生の頽齡期に与えて戴きましたことに心から感謝申し上げます。本当に楽しい6年間でした。

私の健康や身嗜みを気遣い、深夜の帰宅にも厭わず助けてくれた愚妻にも感謝です。

「 野に帰り 群れて咲きたや れんげ草 」 郎

《インタビューを終えて》

インタビュー中、いつもの厳しい会長の顔の所々に、安堵の表情がうかがわれました。これは単に会長職を終えるということではなく、自分の思いを貫き、やりとげた男の顔であったような気がします。6年間おつかれさまでした。本当にありがとうございました。

（広報部 東原・矢吹・石井）



平成18年度 第34回
平成18年 2月2日(木)
18:30~20:00

1. 会長挨拶

次期参議院候補として日歯の常務理事の石井みどり氏が名乗りを上げました。他にも数名の方が手を上げられているようですが、最終的には日歯連盟で我々の職域代表として候補者擁立が決定されるようです。今後応援をしていかなければと思います。

2. 報告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 1月20日(金), 24日(火)
- (2) 学術部正副委員長会 1月26日(木)
(小林理事)

2 / 4 感染症講習会

- (3) 文化事業部会正・副委員長・レクリエーション担当者会議 1月27日(金) (南理事)

4 事業実施詳細

- (4) 学院職員会議 1月31日(火) (藤井常務)
各教務の選定
- (5) 公衆衛生部正・副委員長会 2月1日(水)
(平岩理事)

2 / 17 全体委員会での取組み方。

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 新入会員社保研修会 1月21日(土)
(名越理事)
11名。(女性1名)
- (2) 学院教務会議 1月27日(金) (藤井常務)
卒業認定。皆勤17名, 精勤14名。

- (3) 文化事業部会レクリエーション
1月29日(日) 備前焼体験 (南理事)
9名出席。

〔関連団体との行事, 会議等〕

- (1) 岡山県医師会新年祝賀会
1月21日(土) (小林会長)
- (2) 支払基金幹事会 1月23日(月) (小林会長)
- (3) 都道府県歯科医師会介護保険担当理事連絡協議会 1月25日(水) (平岩理事)
新たに介護予防サービス
- (4) 摂食嚥下従事者研修会開講式 1月25日(水)
- (5) 岡山県保健医療計画策定協議会 1月26日(木)
(國遠副会長)
- (6) 診療報酬等支払運営委員会 1月26日(木)
(原副会長)
- (7) 平成17年度日本歯科医師会歯科医師青色申告会全国連合会・「適正申告推進モデル地区」代表者連絡合同会議 1月27日(金)
(藤井常務)
- (8) 青少年問題シンポジウム～青少年100人対100人委員会～(平成17年度第2回「青少年問題を考え, 行動する100人委員会」)
1月28日(土) (國遠副会長)
講演, 功労者14~15名表彰。
- (9) 「第12回ふれあいコンサート」 1月28日(土)
(小林会長・江口理事)
- (10) 中国地区歯科医師会会長, 日歯代議員合同会議
1月29日(日) (小林会長)
地区代表質問。次期地区選出委員等の確認。
橋本先生(広島)が代表質問。
- (11) 第6回岡山県老連健康づくり推進委員会
1月31日(火) (平岩理事)
17年度事業報告
- (12) 日歯会長選挙投票締切(午後0時)・開票

1月31日(火) (小林会長)
既報のとおり。

(13) 岡山地方社会保険医療協議会

1月31日(火) (齋藤常務)
3機関新設。

(14) 日歯第6回予算決算特別委員会

2月1日(水) (小林会長)
疑義解釈。

〔その他〕

(1) 検死 1月21日(土), 29日(日) (江口理事)

3. 行事予定

55件

4. 協 議

〔各種依頼事項について〕

(1) 歯科技工士試験の実施に伴う試験委員の出席
依頼について

日時 3月2日(木) 11:00

場所 岡山大学歯学部 歯学部棟

来賓及び第二臨床系実習室

出席 藤井龍平, 毛利行雄

(2) 日本学校歯科医会平成17年度加盟団体長会議
の開催と出席依頼について

日時 2月14日(火) 13:00

場所 新歯科医師会館 地下1階 大会議室

出席 小林会長

(3) 日歯第155回代議員会及び第112回通常総会の
開催案内について

日時 代議員会 3月16日(木) 10:00

17日(金) 9:00

(正午閉会予定)

通常総会 3月17日(金) 13:00

場所 新歯科医師会館 大会議室

出席 小林会長, 奥野代議員

原副会長, 酒井専務

(4) 第2回「中規模県歯科医師会連合会」について
日時 2月23日(木) 16:00

場所 アルカディア市ヶ谷

出席 小林会長, 原副会長, 酒井専務

(5) 個人情報保護法講演会の開催案内について

事務局対応

日時 2月24日(金) 14:00~16:00

場所 アークホテル岡山

(6) 山陽歯科衛生士専門学校第21回卒業証書授与
式の開催と臨席依頼について

祝電

〔検討事項〕

(1) 倉敷歯科医師会より「8020達成者表彰」を受
けられた倉敷市民を紹介する事業への協力依
頼について

了承

5. 閉 会 (原副会長)

今日の視点 (斎藤治典)

日本歯科医師会の会長選挙で、大久保氏が当選し
たとの事。大体予想通りでしたが、90票の大差
になるとは思ってなかったのが実感です。「閉塞
感のある現在の歯科界を何とか変えてもらいた
い」という先生方の切実な要望があったものと思
われます。また同時に、次期の参議院議員推薦候
補に、石井みどり氏(広島県歯)が中原 爽氏を
破った事も、同じような会員の先生方の思いだっ
たのでしょう。

明るい歯科界に成るよう、会員皆で協力し、大久
保執行部に期待しましょう。また、石井みどり氏
はその前に、当選を勝ちとらなければいけません。
そのためにも、会員全員が力を結集できるかどう
かも、これからの歯科界を占うバロメーターかも
しれません。

**平成18年度 第35回
平成18年 2月9日(木)
18:30～20:00**

1. 会長挨拶

日歯の監事の選挙，並びに本会会長選挙が後僅かに迫ってまいりました。六年前の私の選挙のときはしっかりとした秩序の下に代議員の選挙が行われましたが，今回は会員全員選挙の下に全国の模範となるような選挙になってほしいと期待しております。

2. 報告

〔各部委員会〕

(1) 広報部編集委員会

1月20日(金)，24日(火)，2月3日(金)

(黒住常務)

(2) 社会保険部検討委員会 2月4日(土)

(西田理事)

来年度の改定の検討。

(3) 学院職員会議 2月4日(土) (藤井常務)

3年制の外来講師を含めシラバス。

(4) 選挙管理委員会 2月6日(月)

(國遠副会長)

2月11日の打合せ。

(5) 渉外部移動委員会 2月8日(水)

(江口理事)

〔本会関連の研修会・会議等〕

(1) 摂食嚥下従事者研修会開講式 1月25日(水)

(黒住常務)

昨年から2回目。挨拶

(2) 学院運営協議会 2月3日(金) (藤井常務)

17年度の報告等。

(3) 感染予防講習会 2月4日(土) (小林理事)

(4) 文化事業部会レクリエーション

2月5日(日)

(南理事)

スキー31名，スノーシュー11名。

(5) 学院三年制に伴う検査 (図書室)

2月7日(火)

(藤井常務)

厚生労働省広島支局より来岡

〔関連団体との行事，会議等〕

(1) 健康おかやま21推進会議

1月31日(火)

(黒住常務)

ワーキンググループは平岩理事担当，330運動の目標値の変更(325運動)等。

(2) 日本学校歯科医会普及第1委員会

2月2日(木)

(黒住常務)

「学校歯科医の指針」の改訂について

〔その他〕

(1) 広報部旅行 1月28日(土)～29日(日)

(黒住常務)

(2) 支払基金・国保連合会と打合せ

2月9日(木)

(齋藤常務)

3. 行事予定

55件

4. 協議

〔各種依頼事項について〕

(1) 平成17年度岡山県介護保険関連団体協議会連絡会議の開催と出席依頼について

日時 3月10日(金) 13:30～15:00

場所 岡山県総合福祉会館

出席 國遠副会長

(2) ベル歯科衛生専門学校より第38回卒業証書授与式の開催と臨席依頼について

日時 3月11日(土) 13:30

場所 ベル歯科衛生専門学校

出席 小林理事

(3) ベル歯科衛生専門学校第38期生一同より謝恩会の開催と出席依頼について

日時 3月11日(土) 19:00

場所 岡山全日空ホテル

出席 小林理事

- (4) ベル歯科衛生専門学校より第40回入学式の開催と臨席依頼について

日時 4月3日(月) 10:30

場所 ベル歯科衛生専門学校

出席 未定

- (5) 笠岡歯科技工専門学校より第39回卒業式の開催と臨席依頼について

日時 3月11日(土) 14:00

場所 笠岡歯科技工専門学校 講堂

出席 國遠副会長

- (6) 歯科技工士試験委員会の開催と出席依頼について

日時 3月13日(月) 13:30~14:30

場所 岡山県庁 5階 第一会議室

出席 藤井常務理事, 小林理事, 近藤委員, 毛利委員

- (7) 都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会の開催について(平成18年度診療報酬改定に係る改定内容の説明会の開催)

日時 3月12日(日) 13:00~15:30

場所 新歯科医師会館 1階 大会議室

出席 齋藤常務, 名越理事, 西田理事, 佐藤検討委員

〔検討事項〕

- (1) 財団法人岡山県教育職員互助組合会員歯科検診の実施に関する契約書について
3月始めに会員に発送。4,227円のうち、227円を事務手数料。
健診票は昨年度、広島県が作成したものを印刷。契約は承認。
- (2) 日本学校歯科医会ホームページへの相互リン

クと資料提供のお願いについて

了承

5. 閉会(國遠副会長)

今日の視点(酒井昭則)

任期も余す所、2ヶ月となった。後顧の憂いのないよう最後までしっかり努めなければならない。
1分、1秒でも早く次のランナーに襷を手渡すためにも。

平成18年度 第36回

平成18年2月16日(木)

18:30~19:30

1. 会長挨拶

本日の資料に2つの記事が気になったので配布させていただきました。一つは産経新聞の「質を求めて保険外診療」というシリーズで記事が出ております。もう保険診療だけでは採算割れが起きているということでしょうか。もう一つは歯科通信の来年度からの保険改定の詳細ですが、これを見ているとどうして歯科にだけこのような改定をといる気がしてなりません。初診料の点数評価についてもそうですし、生活習慣病に対しての対応、特に喫煙の問題については歯周病との関連をまったく無視して医科だけに導入されているというのは全く不可解です。

2. 報告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 2月10日(金)
(黒住常務)
- (2) 選挙管理委員会
2月11日(土・祝), 13日(月) (國遠副会長)
立会演説会と選挙当日の打合せ

(3) 学術部図書委員会 2月14日(火) (小林理事)

(4) 学術部正・副委員長会

2月14日(火) (小林理事)

(5) 学術部小委員会 2月15日(水) (小林理事)

〔本会関連の研修会・会議等〕

(1) 都窪支部会 2月10日(金)

(小林会長, 國遠副会長, 酒井専務)

〔関連団体との行事, 会議等〕

(1) 支払基金・国保連合会と打合せ 2月9日(木)

(2) 日本学校歯科医会理事会

2月14日(火) (黒住常務)

(3) 日本学校歯科医会加盟団体長会議

2月14日(火) (小林会長)

全国大会のお礼報告

(4) 日本学校歯科医会普及第2委員会

2月15日(水) (黒住常務)

(5) 岡山県へき地医療支援会議

2月16日(木) (原副会長)

〔その他〕

(1) 岡山県難聴者協会と面会

2月16日(木) (小林会長)

難聴者等に対しての口腔ケアについて

3. 行事予定

61件

4. 協 議

〔各種依頼事項について〕

(1) 岡山歯科技工専門学院第31回卒業証書授与式
ならびに第33回入学式の開催と臨席依頼につ
いて

第31回卒業証書授与式

日時 3月21日(火・祝) 14:00

場所 岡山県歯科医師会館 5階 大ホール

出席 國遠副会長

第33回入学式

日時 4月1日(土) 13:30

場所 岡山県歯科医師会館 5階 大ホール

出席で返信

(2) 「晴れの国おかやま国体・輝いて!おかやま
大会」実行委員会第5回総会の開催と出席依
頼について

日時 3月20日(月) 14:00~14:45

場所 岡山国際ホテル

出席 小林会長

(3) 平成17年度第2回岡山産業保健推進センター
運営協議会の開催と出席依頼について

日時 3月16日(木) 15:00~17:00

場所 岡山産業保健推進センター

出席 平岩理事

〔検討事項〕

(1) 日本学校歯科医会より文部科学省委託「児童
生徒の歯科保健実態調査」への協力依頼につ
いて 公衆衛生対応

5. 閉 会 (原副会長)

今日の視点 (原 武史)

小林会長が、多くの人に惜しまれながら勇退され
ることになった。6年間の任期中、会員の權益を
第1義に考えられ、懸命に改革に取り組み実行さ
れた足跡は、今なお随所にみられます。

また、その出所進退の爽やかさは、凡人にはなし
えない事と感嘆するばかりです。今後ますます御
活躍をお祈りすると共に、少しでも驥尾に付せれ
ばと願うものである。

Monthly Dental News Review (20)

平成18年

2月13日(月) ▶ 衛生士4年制学科

「東医歯大」と「埼玉県立大」が高倍率

歯科衛生士養成4年制学科の18年度各志願者数

大学及び学科名		前期			後期		
		志望数	定員	倍率	志望数	定員	倍率
東京医科歯科大学口腔保健学科		275	45	6.1	110	10	11.0
新潟大学口腔生命福祉学科		27	15	1.8	30	5	6.0
広島大学	口腔保健衛生学専攻	39	15	2.6	32	5	6.4
	口腔保健学科 // 工学専攻	34	15	2.3	27	5	5.4
埼玉県立大学口腔保健科学専攻		80	14	5.7	70	4	17.5

▶ 日本医療機能評価機構 公表

医療事故情報収集事業の第3回報告書

平成16年10月～平成17年9月

医療事故1,063件の分析

当事者職種

医師 812件

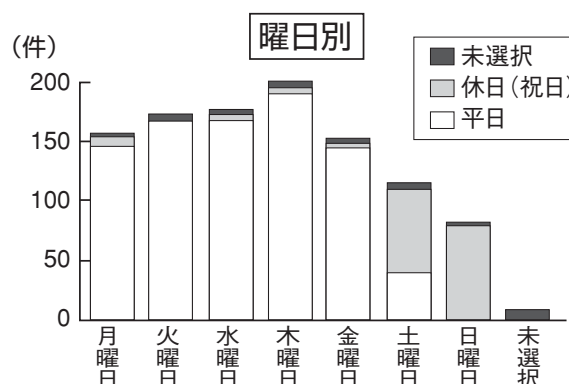
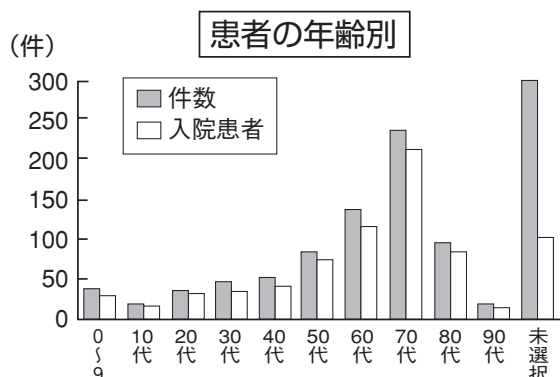
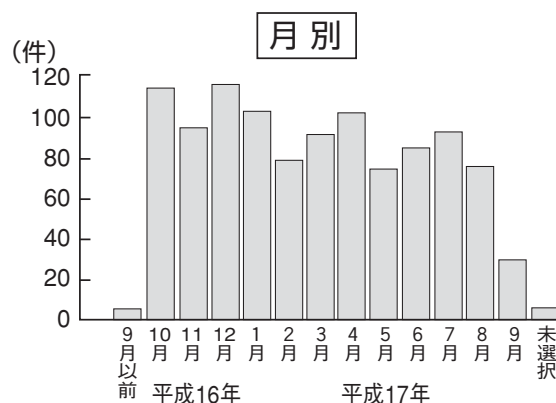
看護師 530件

歯科医師 18件

歯科衛生士 1件

木曜日に医療事故が多発

医療事故の分析結果



13日(月) ▶日本歯科衛生士連盟人事交代

厚労省より「社団法人」と「連盟」を財政・人事面などで峻別するように要請あり

14日(火) ▶山口県保険医協会歯科部会が会員調査

「経営が苦しい」歯科医の7割

全体では
 経営が苦しい 67.3%
 まあまあ 28.7%
 余裕をもって経営している 3%

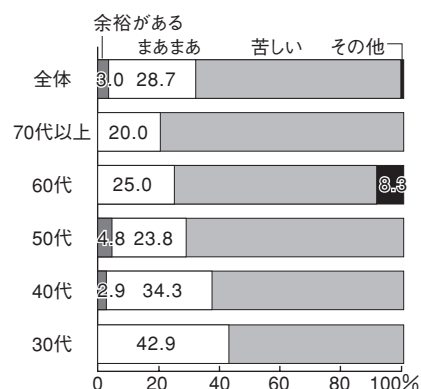
年齢別（経営が苦しい）

70才以上 80%
 60才代 66.7%
 50才代 71.4%
 30才代（苦しい） 57.1%
 （まあまあ） 42.1%

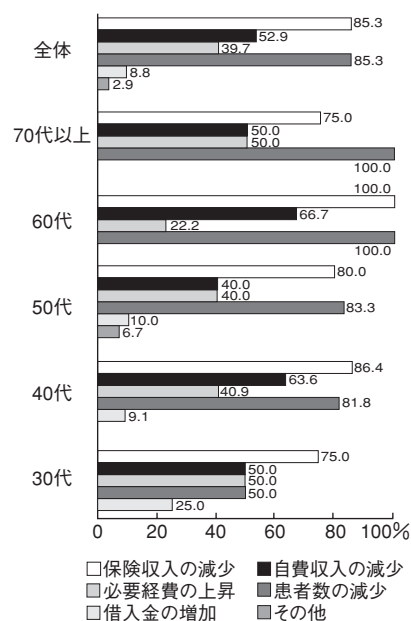
今後の取組について（年代別特長）

70才以上 経費の節減 80.0%
 60才代 〃 トップ
 50才代
 40才代 診療経営システムの改善 62.9%
 30才代 自費診療の拡大 71.14%

経営状況について



「経営が苦しい」理由（複数回答）



統計によれば、医療収益の減少が明らかになっております。平成18年4月からは、さらに1割程のDownになるのではないかと予測もあります。真に歯科「冬の時代」の到来となるのでしょうか。

16日(木) ▶名古屋高裁が逆転判決

「歯科技工所」は医療に付随するサービス業

「歯科医の指示で詰め物を作っている。歯科医療行為の一端を担う性質がある。」

17日(金) ▶厚労省：施設動態調査

平成17年11月末 6万7,229施設（対前月比 48施設↑）

20日(月) ▶国民年金保険料未納保険医療機関 指定更新不可に

社保庁が自民厚労部会に提示

23日(木) ▶骨粗鬆症研究論文

米国の在名学術誌（オステオポロミス・インターナショナル）に掲載

森井浩世氏（大阪歯科大学客員教授）

WHO骨粗鬆症対策委員

高石佳知氏（兵庫県開業）

システムの製品化を表明

24日(金) ▶日医検討臨時委員会 衛生士の業務上養成で答申

歯科衛生士業務の充実と養成年限3年制移行での教育機関の対応を図るために、
日歯が設置した検討臨時委員会（委員長 櫻井善忠・東京都開業）が実施した意識調査結果を分析しまとめたもの。

歯科診療補助行為に関する調査

検査・その他の行為	現 在		将 来		将 来		将 来		将 来	
	(絶対的医行為) 歯科医師が常に自ら行わなければならないと考えている(A)	(相対的医行為) 歯科医師が歯科衛生士の能力を勘案・判断して、歯科衛生士に行わせることができると考えている(B)	(絶対的医行為) 歯科医師が常に自ら行わなければならないと考えている(C)	(相対的医行為) 歯科医師が歯科衛生士の能力を勘案・判断して、歯科衛生士に行わせることができると考えている(D)	(絶対的医行為) 歯科医師が常に自ら行わなければならないと考えている(C)	(相対的医行為) 歯科医師が歯科衛生士の能力を勘案・判断して、歯科衛生士に行わせることができると考えている(D)	(絶対的医行為) 歯科医師が常に自ら行わなければならないと考えている(C)	(相対的医行為) 歯科医師が歯科衛生士の能力を勘案・判断して、歯科衛生士に行わせることができると考えている(D)	(絶対的医行為) 歯科医師が常に自ら行わなければならないと考えている(C)	(相対的医行為) 歯科医師が歯科衛生士の能力を勘案・判断して、歯科衛生士に行わせることができると考えている(D)
業務内容	歯科医師	養成校	歯科医師	養成校	歯科医師	養成校	歯科医師	養成校	歯科医師	養成校
臨床検査（血圧・脈拍・体温・呼吸の測定）	37.9	23.2	62.1	76.8	13.5	0.0	86.5	100.0	1	1
歯周組織診査（ブローピング・動揺度・付着歯肉・歯周離開度診査等）	23.5	23.2	76.5	76.8	6.1	0.0	93.9	100.0	1	1
X線撮影の準備	10.4	18.9	89.6	81.1	1.1	0.0	98.9	100.0	1	1
スタディモデルの印象採取	16.4	20.2	83.6	79.8	2.6	0.0	97.4	100.0	1	1
電気歯髄診断器の操作	70.1	55.7	29.9	44.3	48.1	33.0	51.9	67.0	2	2
腐蝕活性試験	24.7	23.2	75.3	76.8	5.9	0.0	94.1	100.0	1	1
処方箋の口述記載	44.5	40.2	55.5	59.8	25.8	18.0	74.3	81.4	1	1
技工指示書の後述記載	37.7	38.1	62.3	61.9	20.7	15.5	79.3	84.5	1	1

歯周病処置に関わる 歯科診療の補助	現 在		将 来		将 来		将 来		将 来	
	(絶対的医行為) 歯科医師が常に自ら行わなければならないと考えている(A)	(相対的医行為) 歯科医師が歯科衛生士の能力を勘案・判断して、歯科衛生士に行わせることができると考えている(B)	(絶対的医行為) 歯科医師が常に自ら行わなければならないと考えている(C)	(相対的医行為) 歯科医師が歯科衛生士の能力を勘案・判断して、歯科衛生士に行わせることができると考えている(D)	(絶対的医行為) 歯科医師が常に自ら行わなければならないと考えている(C)	(相対的医行為) 歯科医師が歯科衛生士の能力を勘案・判断して、歯科衛生士に行わせることができると考えている(D)	(絶対的医行為) 歯科医師が常に自ら行わなければならないと考えている(C)	(相対的医行為) 歯科医師が歯科衛生士の能力を勘案・判断して、歯科衛生士に行わせることができると考えている(D)	(絶対的医行為) 歯科医師が常に自ら行わなければならないと考えている(C)	(相対的医行為) 歯科医師が歯科衛生士の能力を勘案・判断して、歯科衛生士に行わせることができると考えている(D)
業務内容	歯科医師	養成校	歯科医師	養成校	歯科医師	養成校	歯科医師	養成校	歯科医師	養成校
歯石除去（スケーリング・ルートプレーニング）	14.8	18.2	85.2	81.8	1.3	0.0	98.7	100.0	1	1
歯面・根面研磨（PMTTCなど）	15.0	21.6	85.0	78.4	3.3	0.0	96.7	100.0	1	1
ポケット搔爬	75.1	77.8	24.9	22.2	50.3	43.4	49.7	56.6	3	2
歯肉包帯	68.3	46.7	31.7	53.3	45.1	21.6	54.9	78.0	2	1
暫間固定（装着・除去）	85.1	80.4	14.9	19.6	65.4	54.6	34.6	45.4	3	3
歯頸部歯肉への浸潤麻酔	98.0	94.9	2.0	5.1	88.1	71.7	11.9	28.0	3	3

各診療行為について歯科医師が「現在及び将来（修業年限延長後）歯科衛生士に行わせることができる」と考えているかどうかの割合を出し

レベル1 「現在」50%を越えている場合

レベル2 「現在」50%以下で「将来」50%を越える場合

レベル3 「将来」でも50%を越えない場合

27日(月) ▶日歯・定款改正臨時委員会

最終答申

- ・入会促進で会費減免措置
- ・会員免除年齢を引き上げ、会費負担を満75才まで

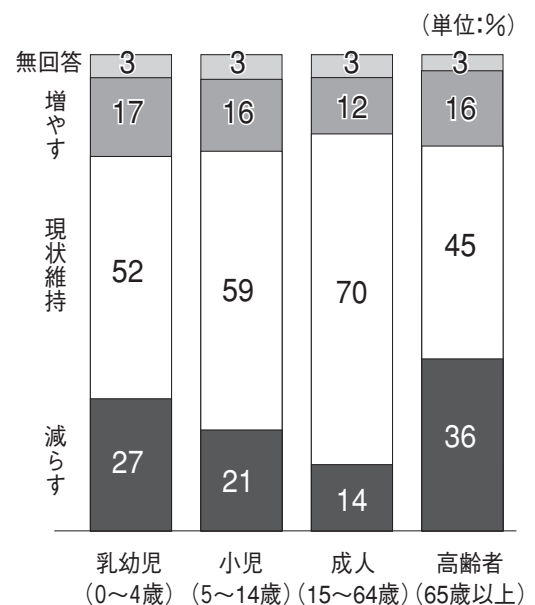
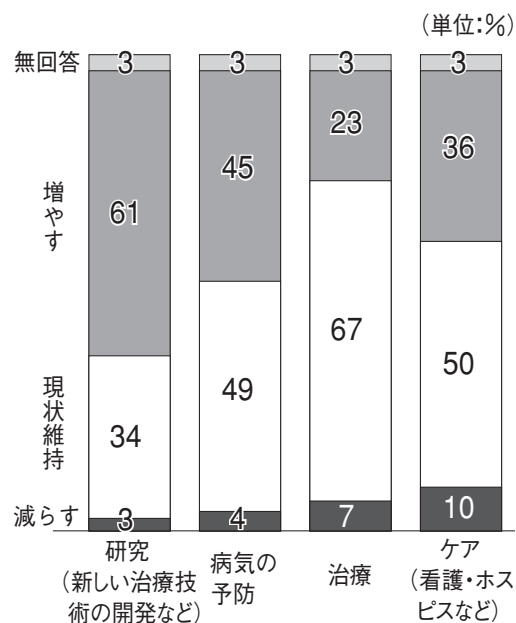
日本の人口構成と同調するように、日歯会員の高齢化が確実に進んでいるようです。これらの答申内容は、「県歯会」また「市町村歯会」レベルにまで影響を与えそうです。

3日1日(水) ▶NPO法人：日本医療政策機構が調査

「医療政策に関する2006年世論調査」

医療費の使い方として、研究・予防・治療・ケアという医療の各段階それぞれについて、今後どのようにすべきだと思いますか？

医療費の使い方として、以下の年代の一人当たりの医療費を、今後どのようにすべきだと思いますか



今の医療制度に不満6割

- ・制度決定へのプロセスの公正さ（既得権益の排除）
- ・制度決定への市民参加の度合

2 日 (木) ▶ 厚労省 医道審議会

歯科医師 行政処分 24人

過去最多

効力発行 3月15日

臼田氏が免許取消

3 日 (金) ▶ 社会保険庁

滞納処分 歯科医 17人 督促 63人 平成15・16年度

6 日 (月) ▶ 日本禁煙推進医師歯科医師会連盟

(会長＝大島 明・大阪府立成人病センター調査部長)

スポーツ界からたばこ一掃 日体協に要望書提出

7 日 (火) ▶ 社会保険診療報酬支払基金

平成17年11月診療分

歯科の前年同月比 4カ月連続増

1件当たりでは減少傾向

診療種別支払確定件数及び金額 (17年11月診療分)

診療種別		件数		金額		
		対前年同月比	構成割合	対前年同月比	構成割合	
総計		千件	%	百万円	%	%
		68,681	102.9	860,452	102.5	100.0
医科	計	40,812	102.0	633,583	101.8	73.6
	入院	982	99.1	291,994	101.1	33.9
	入院外	39,830	102.1	341,589	102.4	39.7
歯科		8,586	102.7	81,516	100.3	9.5
調剤		10,253	105.1	123,706	108.7	14.4

(注) 総計の件数は、食事療養費を除く数値である。

歯科診療報酬諸率 (17年11月診療分)

区 分		1 件当たり点数		1 日当たり点数		1 件当たり日数	
			対前年同月比		対前年同月比		対前年同月比
総 計		点	%	点	%	日	%
		1,316.0	97.5	591.6	99.8	2.22	97.7
医療保険	計	1,279.5	97.5	581.4	99.3	2.20	97.7
	被 保 険 者	1,398.7	97.2	511.4	99.5	2.29	97.6
	被扶養者 3 歳以上	1,143.6	97.4	542.7	99.9	2.11	97.4
	被扶養者 3 歳未満	628.2	95.9	455.5	98.1	1.38	97.8
	高 齢 者 8 割	1,401.1	99.5	585.0	101.2	2.39	98.3
	高 齢 者 9 割	1,637.3	96.4	640.7	99.1	2.56	97.3
老人保健	計	1,757.7	97.8	705.3	100.0	2.49	97.8

天上大風

「脱皮から羽化　そして…」

平成18年2月26日「岡山県歯」史上初の全会員による会長選挙が粛粛と行われ、酒井昭則氏が^(注)岡山県歯科医師会会長に選出されました。

酒井新会長には、おめでとうございます。と共にこの時勢につき、心身共大変なご苦勞もあるかと拝察致しますが、県歯・県歯会員のためにも存分なご活躍を心より期待致します。

まずは、第1回会長選出としての「選挙」は手法及び運営共、大いに評価できるのではあるまいか。

そして4月桜の頃、満を持し酒井執行部が新進気鋭なる新役員をそろえて新発足し、いよいよ我々会員を携えて荒ぶ海へ3年間の大航海に旅立ちます。執行部役員の任期3年間に亘るご健康とご健闘を祈念致します。

ところが、広報部編集委員会は業務の特殊性と継続性から、任期が新年度の4月迄で、5月号会報発刊に従事することとなっております。そのことにより、此の度の歴史的な執行部の交代を目撃する機会を得ることとなり、委員一同感慨も一入といったところです。

かかる状況の許、編集委員会では最後の業務として、小林会長2期6年を振り返っての『会長インタビュー』を企画致しました。この中で、小林会長は6年間の想いと自らの総括をご自身の言葉で語られており興味深い内容となっております、是非一読戴きたいものです。

「本会」は会員のものであり、会員自身が積極的に「会」に関与していかなければ、会の発展ひいては会員自身の地位と生活の向上はないのではないかとこの想いを伏流水の如く言葉奥深く読み取ることができました。結論的な言葉を探してみますと、県歯の発展にとって「無関心が最大の障害」ということではないでしょうか。

ところで「岡歯会報」は今後も継続して発行されてまいります、「会誌」が単なる執行部から情報を伝達するだけの「機関誌」や「官報」にはならないようにしなければなりません。会誌のある可き最良の形態が、執行部と会員間の双方向性の総合情報誌となればとの期待をもって編集委員一同業務に励んでまいりました。また、内容では、小林執行部2期6年の間で、第1期「胎動」、第2期「天上大風」のコラム欄の如く、微妙な問題や繊細な事柄に対してコメントを加え掲載できたことは対内広報の性格を多く持つ広報活動の中でも特異的なもので、このような『コラム欄』を設けてある広報誌は全国でもめずらしく、非常に自負できるものと考えております。

これからの3年間においても、この「会報」が会員と県歯会の双方向性の大きなパイプとなることを期待するものです。

(注) 岡山県歯科医師会会長の「歴代」数について、歴史の流れの中で混乱と混同が生じ、複数の積算法(第37代・第42代)が存在します。

今後「会」にて調査研究を行い、確定する必要があるのではないのでしょうか。

平成16・17年度日歯生涯研修事業(第3期)報告

実施期間 (2004年4月～2006年3月)

第3期 (2004年4月～2005年9月)

平素より日歯生涯研修事業にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成16年4月1日から発足しました新しい生涯研修事業の第3期(2004年4月～2005年9月)の単位取得状況が日歯より送付されましたので、岡山県内関係についてご報告いたします。

1. 研修単位平均取得数と参加率・達成率

	単位	参加率	修了基準達成率	認定基準達成率
全 国	33.1	78.1	24.7	10.5
岡山県	29.8	81.7	21.1	9.2

注1) 修了基準は実施期間(2年間)で40単位以上

認定基準は修了基準達成者のうち全てのガイダンスの大項目全ての単位取得者、

または全ての研修方式に対し一定の基準以上を満たした者(下記の基準)

受講研修: 24単位以上, 教材研修: 10単位以上, 能動研修: 6単位以上

注2) 達成率(%)は参加者数(人)に対する修了基準者(人), 認定基準者(人)の割合

2. 岡山県の研修単位取得数

郡市区歯科医師会別の研修単位取得数

	対象者数	参加者数	単位取得数	参加者率
岡山	331	270	26.0	81.6%
御津	28	22	18.0	78.6%
津山	65	50	27.0	76.9%
倉敷	125	105	32.6	84.0%
都窪	46	44	42.4	95.7%
玉野	35	27	30.3	77.1%
児島	42	42	56.4	100.0%
瀬戸内	19	16	37.8	84.2%
赤磐	26	13	13.8	50.0%
和気	22	13	21.4	59.1%
吉備	37	33	27.2	89.2%
玉島	32	17	29.5	53.1%
浅口	19	18	13.3	94.7%
笠岡	22	17	15.8	77.3%
小田	8	7	71.4	87.5%
井原	17	16	18.1	94.1%
高梁	18	15	12.8	83.3%
新見	11	11	43.4	100.0%
勝・英	21	20	53.3	95.2%
真庭	20	16	20.5	80.0%
総 合 計	945	772	29.8	81.7%

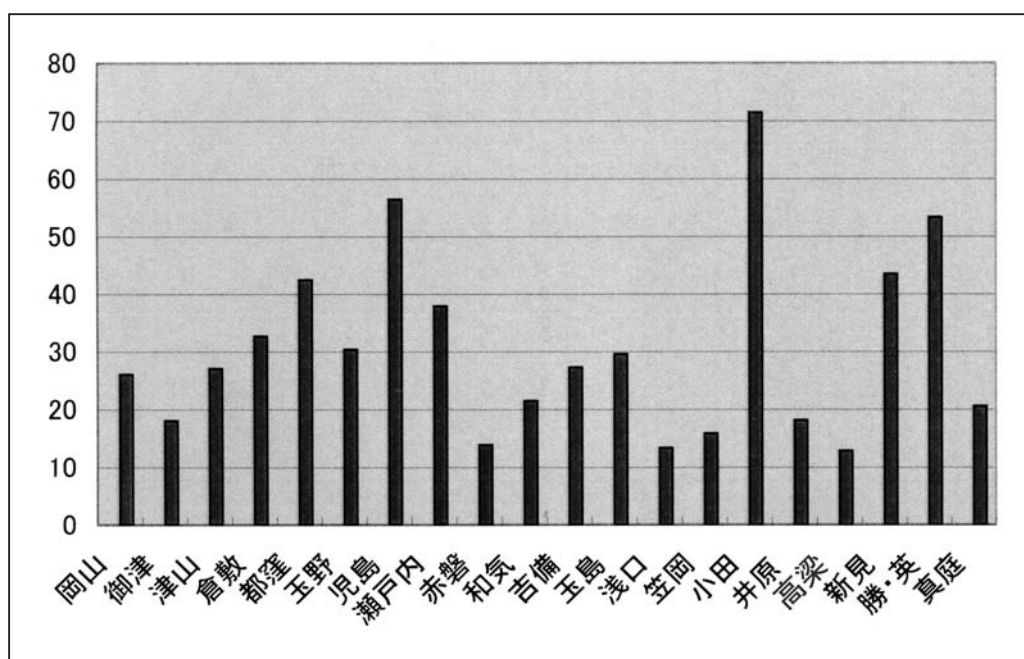
ガイダンス項目（大項目）別（百分率）

ガイダンス項目	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
百分率（％）	39.8%	52.8%	12.0%	6.7%	10.0%	8.4%	6.1%	5.6%	4.2%	1.9%

3. 研修方式の比較

研修方式		研修単位取得数平均	
		単位数	百分率
研 修 会		18.0	60.60%
自 己 申 告	受 講 研 修	6.9	23.20%
	教 材 研 修	1.5	5.10%
	能動的研修	3.4	11.40%
	小 計	11.8	39.70%
合 計		29.7	100%

各支部別研修単位取得数平均



以上が、第3期の報告です。

全国平均に比べ、参加率は81.7%と高い数値を示しましたが、取得単位平均は29.8単位で3.3ポイント低い結果です。ここ数年、岡山県の取得単位は全国平均を下回っています。今後の奮起を期待したいものです。

近い将来、生涯研修事業と保険医更新制度を連動される案が、検討されているようです。また、新たに始まる平成18・19年度日歯生涯研修事業では、基準達成者には、それぞれ修了証、認定証の交付、国民向けホームページで公表する予定になっています。従って、今後のことを考えますと、普段からできるだけ多くの生涯研修カードを提出することが大切です！

（近藤修六）

感染予防講習会後記



感染予防講習会は全国で8都道府県が選定され、3年間継続する補助事業です。過去2回は県歯会館において、栗原英見先生（広島大学教授）、前田憲昭先生（大阪府会員）にご講演を頂いております。

今回は2月4日(土)津山歯科医師会館において、岡山大学の明貝文夫先生に「一般的な歯科診療における院内感染対策」と題し、スタンダードプレコーション、診療室で注意すべき事項、行政からの指摘事項などについて詳細に解説をして頂きました。

今後、感染予防対策については行政監視がより一層厳しくなると思われます。先日、全会員に配布された「HIV感染症の歯科治療のマニュアル」に示されている、歯科診療における院内感染予防（74頁～82頁）を是非通読して頂きたいと思います。

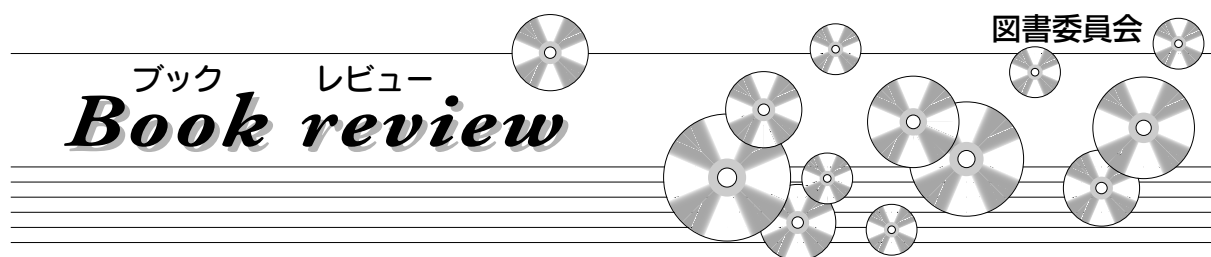
ここに実際についての36項目を再掲載致しますので、自院での対応について今一度ご確認下さい。

- ① 可能なかぎり病歴を取り、十分に診察する
- ② HBVワクチンをうける
- ③ 治療の前に十分な手洗いをしてから手袋を着用する
- ④ 手袋とその着用
- ⑤ 診療用手袋をつけたまま石鹸やアルコール製剤等で消毒しないこと
- ⑥ 患者の血液や唾液が触れても安全のように手袋、メガネ、マスクを使用する
- ⑦ 白衣は毎日替える、診療室から外にでるときには着替える
- ⑧ 安頭台、无影燈、フットペダル、X線装置ヘッドなどにビニールシートカバー
- ⑨ 治療の前に口をゆすがせる、できれば消毒薬でうがいさせる
- ⑩ ラバーダム防湿の励行
- ⑪ バキュームテクニック、とくに口腔外バキュームの応用
- ⑫ 注射筒、注射針、メス、縫合針、紙コップ、ペーパータオルなどできるだけ使い捨てのものを使い、使用後は一括して廃棄する
- ⑬ 鋭利な歯科用器具や注射針で絶対に傷をつけないよう細心の注意を払う
- ⑭ バーの着脱は直接指で行わないこと
- ⑮ 使用後のバーはただちに消毒薬や洗剤（界面活性剤）に入れること
- ⑯ 原則としてリキャップ（針をキャップにもどす）はしない
- ⑰ リキャップをする場合は片手ですくう方法（スコップ法）を用いる

- ⑮ 手袋をしたままカルテを書かない
- ⑯ 診療中、手袋をした手であちこちさわらない
- ⑰ X線フィルム（デンタル）はサランラップで包装して使う
- ⑱ 治療後の手洗いを十分に行う
- ㉑ 患者に使用した器具類の消毒を怠らない
- ㉒ 熱処理に耐える器具はすべて熱処理する
- ㉓ 滅菌できるハンドピースに替える
- ㉔ 超音波洗浄器を積極的に利用する
- ㉕ パッキングシステムを導入する
- ㉖ 滅菌のモニタリングをする
- ㉗ エアーおよびウォーターラインの逆流防止のためにユニットの改造が必要
- ㉘ 治療終了後には、エアタービン、マイクロモーターは空ぶかしを行う
- ㉙ 手用器具はグルタールアルデヒドに5～60分浸ける。その後オートクレーブ
- ㉚ 治療後の機械・器具、テーブル、カウンターなどの表面は消毒薬や洗剤で拭く
- ㉛ 印象物など患者の口腔から取り出したものはただちに消毒薬に入れ、チェアーサイドから移動させる
- ㉜ 石膏を練和する時には次亜鉛素酸ナトリウム（TBS錠）入りの水を使い石膏模型の消毒を行う
- ㉝ 滅菌・消毒法の基本を守る
- ㉞ 医療廃棄物は選別して捨てる
- ㉟ 院内感染予防に関する手引書を常備する

（小林清司）





チェアサイド、ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド

後藤滋巳，永室利彦，榎宏太郎，石川博之 編著（医歯薬出版）

近年の矯正歯科治療は，治療技術や材料の開発に伴う新しい治療法が生まれるなど，目覚ましい進歩，発展を遂げてきている。また，欠損部への補綴治療や歯周治療なども矯正歯科の配慮を加えることで得られる効果の大きさが広く認識されるようになっている。

本書では，各種不正咬合の治療を円滑に行うために用いる主要な矯正装置を紹介し，各装置の基本構成と作製手順，実際の使用方法，技工依頼に際しての注意点や適応症について，具体的に症例を呈示しながら，イラスト，写真を用いて解説されています。

再生歯科のテクニックとサイエンス

一歯周，審美，インプラント

吉江弘正，宮本泰和 編著（クインテッセンス出版株式会社）

歯周組織の再生療法が臨床応用されて，30年以上の歳月が流れた。ハイドロキシアパタイト，自家骨，他家骨による骨移植術，非吸収性，吸収性膜によるGTR，エムドゲインによるエナメルタンパク治療，各種増殖因子による再生治療と進化しつつあります。

再生療法が医療産業をも活性化し，患者さんへの福音となるか，単なる机上の学問として終息するか，それは現場の医療人の意識と情熱に依存している。この本を契機に，真の再生，組織工学ワールドへ第一歩を踏み出してはいかがですか。

パーフェクト歯内療法

高島憲二 著（デンタルダイヤモンド社）

前著「スタンダード歯内療法」から10年が経過しており，華麗に斬新に進化して「読者の目線で臨床医の立場で」を貫かれています。

表紙まわり，プロローグからエピソードまで，著者がかなりコダワリを持って作られています。カラー写真，イラスト，X線写真などとてもわかりやすく，読みやすく解説されており，見るだけでおもしろいと思います。

「歯内療法」だけでなく，著者の人生哲学的なものを感じとれる一冊ではないでしょうか。

『リスクを持つ歯へのアプローチ』

宮地建夫 藤関雅嗣 野嶋昌彦 編集

歯科医師として臨床経験を積み重ねるうちに、今までに獲得した経験・技術を駆使して、『なんとかこの歯を残せないだろうか?』、『なんとか歯髄保存できないだろうか?』と自問したことは誰しもあると思います。この本は深いカリエスや動揺歯・破折歯など、リスクを持つ歯に対する考え方や治療法の実際を述べており、日常臨床においても更なるレベルアップの一助になり得る書です。

『Periodontal Flap』

フラップ手術 実践テクニック

申 基喆 著

歯周ポケットの除去を目的として発達してきたフラップ手術は、切除療法と組織付着療法に大別されているが、近年GTR法の発展、導入により歯周組織の再生も可能となってきた。

本書ではフラップ手術の基本を詳説しているが、患者の希望や条件により、切除か付着かあるいは再生か最適な術式を導き出せるように解りやすいフローチャートを記載している。

『パーシャルデンチャーアトラス』

大山喬史 編著

残存組織を痛めない、咀嚼機能を長期にわたって維持することのできるパーシャルデンチャーは、機能時に回転しにくい構造を持っている。従ってパーシャルデンチャーの設計には、可及的に義歯の動きを小さくし、回転の動きを抑える工夫が重要となる。

本書では、遊離端義歯を中心に、パーシャルデンチャーの回転をいかにして抑えるかという観点に基づいてデザイン理論を展開している。

歯科衛生士さんのために口腔内撮影術

丸茂義二 監評

口腔内写真は患者の大切な診療記録であります。撮影しないよりした方が良いのが口腔内記録写真であるが、最初から上手に撮影できるはずがない。本書は、デジタルカメラの特長を応用して、撮影後に修正可能な口腔内写真とは何かを踏まえた教育のテキストである。また付属のDVDを見て、練習できる。

Ultimate Guide IMPLANTS

山崎長朗 高橋常男 井上 孝 勝山英明 林 楊春 編著

本書は、インプラント治療における海外のエビデンスばかりではなく、国内のインプラント臨床が歩んできた歴史の中から生まれたエビデンスというものも十分に考慮したインプラントの総合解説書である。本書の執筆陣は、「患者を想うがゆえにインプラント治療に魅せられた」臨床の第一線で活躍する先生方である。

MEAWを用いた矯正治療Ⅱ〔アドバンス編〕

佐藤貞雄 編著

4年前に出版された、Y.H.Kim先生の矯正治療に使われるワイヤーのMEAWの入門書「MEAWを用いた矯正治療」のアドバンス編である。R.Slavicek先生のシークエンシャル咬合という総合正常咬合の概念と咬合平面のコントロールという概念、道具としてのMEAWとを、機能障害を伴う複雑な症例にどのように適応するかが、解説されている。

歯科臨床ハンドブック ―臨床ヒント集ダイジェスト版―

戸田忠夫 他 編集（クインテッセンス出版㈱）

本書では従来からの基本的技術と合わせて、セラミックインレーや歯の漂白など最新の理論と器材を応用したテクニックの紹介に主眼を置いている。また内容は写真や図を多用して、初心者から経験豊かな臨床家の方々まで読みやすく、理解しやすいように配慮されている。

臨床家のための舌診のすべて 東洋医学・西洋医学の融合

別所智司・世良田和幸 編（医歯薬出版株式会社）

本書では舌の状態と全身疾患との関連が写真によりわかりやすく説明されている。西洋医学だけでなく、歯科医にとってあまり馴染みのない東洋医学の観点から全身状態の評価することで、治療リスクの高い患者を把握する一助とするものである。

実践 長期間の小児歯科

薬で楽しい子どもとの接し方・無痛的治療・予防・定期検診の実践

岡本 誠 著（砂書房）

本書では小児歯科における子どもとの接し方や会話術などが具体的に盛り込まれている。また一般的な治療だけでなく、長期的な予防を重視した「薬で楽しい無痛的治療の実践と子どもに自信を与える」というより近代的な小児歯科医療を目指して書かれている。

歯科衛生士のための クリニカルインストルメンテーション

佐々木妙子 著（クインテッセンス出版㈱）

本書では、歯科衛生士がハンドインストルメンテーションをわかりやすく学べるようにイラストを多用して説明されている。理論編と臨床編の2部構成になっており、理論編ではインストルメンテーションに必要な各種理論が詳細に説明されている。また臨床編では歯肉縁下、接触点下など各部位におけるテクニックが余すところなく説明されている。

報 告

医 療 管 理 部

◎医療管理運営小委員会

17年11月9日(水)

・学会発表内容の最終打合せ

◎平成17年度日本歯科医療管理学会中国支部

総会・学術大会

17年11月19日(土)～20日(日) 広島県歯会館

◎平成17年度日本歯科医師会歯科医師青色申告会全国連合会評議員会・「適正申告推進モデル地区」代表者連絡会合同会議

1月27日(金) 日歯会館

・本会の藤井常務理事とモデル地区の倉敷支部の三上専務理事が出席

◎平成17年度都道府県歯科医師会医療管理担当理事連絡協議会

2月22日(水) 日歯会館

「報告」

- (1)「歯科医院が独自に行う需要拡大策」について
- (2)「歯科医療に関わる消費税制への提言」について

(3)「歯科衛生士の業務と養成」について

(4)「医療管理関連部門調査の結果」について

「講演」

「医療安全対策における行政の取組について」

厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長 田原克志先生

「協議」

- (1)「歯科診療所の医療安全管理体制の仕組み」について
- (2)「歯科医療ネットワーク事業の実施」について
- (3)質疑・応答

◎正副委員長会 2月25日(土)

・第2回部会の打合せ

◎17年度第2回部会 3月8日(水)

- ・17年度事業経過及び現況報告
- ・18年度事業予算案の協議
- ・その他

お知らせ

日曜・祝日の開館予定日

○印 開館予定
×印 閉館予定

	2日(日)	9日(日)	16日(日)	23日(日)	29日(土・祝)	30日(木)	
4月	×	×	×	○	×	×	
				9:00～14:00			
	3日(水・祝)	4日(木・祝)	5日(金・祝)	7日(日)	14日(日)	21日(日)	28日(日)
5月	×	×	×	×	×	×	×

※行事等の都合により変更となる場合もあります。 ※詳細については事務局にお問い合わせ下さい。

4月より共済給付事業が「県歯新共済」としてスタートします！

岡山県歯科医師会会員が相互扶助の理念に基づき、昨年度まで運用されていた特別積立基金事業，特別入院給付事業に代わり，本年4月より「県歯新共済」が始まります。「県歯新共済」の制度内容を了知いただき，事由発生の際は遅滞なく請求手続きをお願いいたします。

県 歯 新 共 済

(給付)

1. 入院共済金

会員が傷病のため入院（医療施設に限る）した場合，給付する。

満75歳未満の会員 15,000円／日

満75歳以上の会員 8,000円／日

但し，年間120日を限度とし，入院初日より5日間は免責期間とする。また，入院共済金の給付は，5年間で通算して360日分を限度とする。

（入院共済金の給付は，5年単位で継続されます。）

入院共済金給付を受けないで死亡した場合，特別弔慰金30万円を給付する。

2. 慶祝・死亡共済金

(1) 慶祝共済金

満70歳に達した場合，20万円を給付する。

(2) 死亡共済金

満70歳未満で死亡した場合，20万円を給付する。

但し，満50歳未満で死亡した場合，弔慰金として80万円を加算する。

3. 火災，災害見舞金

全焼全壊，半焼半壊及び床上浸水などの火災・災害に対して給付する。給付額は，20万円までとする。

給付対象は診療施設に限る。

4. 返還金

退会，または死亡した場合，返還金を支払う。

(共済年会費)

30,000円

満75歳以上に達した会員（30年以上加入） 10,000円

但し，満75歳に達した会員で，加入期間が30年に満たない場合は次の通りとする。

25年以上30年未満	13,000円
20年以上25年未満	15,000円
15年以上20年未満	20,000円
15年未満	25,000円

満80歳以上の会員，年会費免除

年齢は4月1日現在の満年齢で計算する。

日本歯科医師会福祉共済制度のご案内

制度の内容は，次の通りです。障害共済金の(2)の規定について平成18年4月1日より障害程度が緩和されていますのでご確認ください。

1. 死亡共済金

800万円（45歳未満の場合，1,000万円）支給されます。

2. 障害共済金

次の(1)か(2)に該当した場合，800万円支給されます。

(1)目が見えない，耳が聞こえない，口がきけなくなり，歯科医師法により歯科医師免許を取り消された場合。

(2)公的年金に関連する法律（国民年金法等），身体障害者福祉法，労働者災害補償保険法により障害者一級，二級及び三級に認定され，歯科医師免許を返納した場合。

3. 火災共済金

日本歯科医師会に届出のある就業所，現住所の物件がどちらか一物件，全焼した場合，800万円支給されます。（就業部分と現住所の住宅部分が同じで共に全焼した場合も，800万円の支給となります。）

4. 災害共済金

火災の場合と同様な物件条件で，天災，地変あるいは事故に起因する被害を受け，全（倒）壊，流失，あるいは水没した場合，800万円支給されます。

1～4の共済金について請求事由が発生した場合は，速やかに本会事務局にご連絡下さい。事務局から請求方法，必要書類等をご連絡いたします。

ファミリースキー・スノーシューハイキング



まだ薄暗い2月5日早朝、参加者42名は7時出発予定にも関わらず6時10分には集合開始。(さすがスノーフリークは早起きだ) 去年よりバスには少し早く来てもらい予定通り大山スキー場へと出発。前日までの大雪でゲレンデコンディションも良く絶好のスキー・スノーシュー日和となりました。

バスの中ではまず大嶋常務理事よりご挨拶を頂き、飲み物、お菓子でくつろぎながら、昨年よりさらにグレードアップした豪華賞品の当たるお楽しみビンゴゲームを行い、一路大山へと向かいました。途中でチェーン装着に時間がかかり到着は予定より遅い10時すぎになってしまいました。

今年は例年になく積雪で去年より人出が多くやや混雑していましたが、ゲレンデはふわふわの新雪状態で時々覗く日本海を見ながら思う存分滑る事ができました。

帰りは4時すぎにスノーシュー組と合流しスキー場を出発、皆様怪我もなく予定どおり7時前には会館へと帰着する事ができました。

早朝より参加下さいました先生方、お疲れ様でした、楽しい一日が過ごせました。またできましたら来年バスツアーで一緒にしましょう。

(北山 仁)



スノーシューハイキング

2月5日(日) 最近ブームになりつつある、スノーシューを履いた雪中ハイキングには11名の参加をいただきました。(行きのバスが大山のふもとでチェーントラブルのため、1時間到着が遅れるハプニングにはまいりました。) 大山スキー場より大山レークホテルのガイド2名と共に榎水高原スキー場に移動し、リフトで横手道まで登り、新雪の中ハイキングを始めました。数名を除いては初めてのスノーシュー体験でしたが、大山寺までの緩い下り坂をガイドの説明を聞きながら歩きました。あいにく前日



にかなりの新雪が降ったため動物の足跡には出会えず、当日も降り続く雪のため期待していた絶景も望めませんでした。雪の椅子とテーブルで食べたおにぎりと熱い豚汁(絶品!)やワインは忘れられない昼食となりました。(柴田先生コーヒーごちそうさまでした。)

(定兼正明)

フラワーデザイン教室



2月19日(日)17年度文化部15事業の最後となる「フラワーデザイン教室」が、日本フラワー技能士一級技能士の三好マリエ先生を講師にお迎えして県歯会館で開催された。当日は9名の参加者の下、生花を特殊加工したブリザーブドフラワーを使って、主に壁掛けを中心としての作品作りであった。参加者一同、初めての経験に苦戦しつつも、約2時間の予定時間内に思い思いに作品を仕上げる事ができた。

15年度に文化部が実施したアンケート結果に基づき、増加の一途にある主に女性会員をターゲットにした初めての企画であったが、概ね好評いただけたことと思う。

(南 哲之介)



『郷土文化に触れる会』

— 備前焼き体験 —



1月29日午前10時より3回目の土ひねり体験の会が備前市伊部の延原窯で行われました。まず、普段見ることのできない登り窯内部の見学など、延原先生から説明をうかがい、次回の窯焼きのために準備された大量の割り木に驚かされました。今回は、9名の参加で初心者あり、ベテラン?あり。備前焼きの粘土と格闘しつつ、2時間という限られた時間のなかで、それぞれの創作意欲が遺憾なく発揮出来たようです。

4月中旬に焼き上がる予定との事、それぞれの作品の出来映えに少しの期待と大きな不安を抱きつつ、備前焼きの郷後にしました。

最後に、延原先生には、作品の製作や次回個展の準備と大変お忙しい中、丁寧にご指導戴き有り難うございました。

(松本浩一)



異彩なこの人

谷 幸治 先生（玉野支部）

玉野支部より谷 幸治先生をご紹介します。

先生は開業以来、観葉植物、本格的な洋ラン栽培、及び写真撮影を趣味として続けてこられました。今でこそ培養技術や温室設備の発達などにより多くの洋ランが市場に出回っていますが、先生の始められた頃は練炭ストーブで暖を取り、栽培されていたと話に聞き及んでいましたので、その一端でも伺えればと原稿を依頼したところ、『野山の花との出会い』と題して原稿をいただきました。

（モニター 赤司洋一郎）

「野山の花との出会い」(カナリア諸島)

カナリア諸島はアフリカ大陸の左上、モロッコ沖の島々でスペイン領です。小鳥のカナリアの発祥地で、帆船時代には地中海や北海から大西洋に向けての航海の補給基地として栄えていました。今回はNHK学園自然観察会に参加し、テネリフェ島とグランカナリア島へ行きました。このツアーには一般のガイドとは別に植物学者の先生が同行していますので、「この木なんの木……名前の知らない花」ではなく、時にはルーペを使って品種を判別することもあります。知らないと通り過ぎるような木陰にひっそりと咲く小さな花で、その先生は感とか嗅覚があるらしく、茂みに入って簡単に見つけてくれます。くわえて、その土地特有の花が咲いているベストシーズンを選んで企画されているので、普通の観光旅行では見られないめずらしい花に出会えます。私は大雪山、鳥海山、安達太良山、伊豆大島などへもこの観察会で行きました。

私が今のように植物に興味を持つようになったのは、開業のとき、お祝いに頂いた洋ランやゴムの木をどうしたら枯らさないようにできるかと考えるようになったのがきっかけです。そう思い始めてから2、3年後にはもう温室を作って、かなり熱を入れるようになっていました。いまでは自宅の温室で咲かせた洋ランなどの鉢植えを医院の温室に持って来て、患者さんに楽しんでもらえるようになりました。

10数年前、ゴルフの先輩の先生に誘われて、この観察会に参加するようになり、温室で鉢植えを育てるだけでなく、野山の花との出会いが楽しみになりました。その楽しい出会いを残そうと写真を撮り始めた次第です。

①はカナリア諸島を代表する花のひとつで、観光案内にもよく出ています。このユーホルビア属は多彩で②のように柱状のサボテン風もあり、写真はありますが川原の石風で棘のないものもあります。クリスマスのポインセチアもこの仲間です。⑧は会いたかった花ですが、早過ぎて一分咲きでした。



①ユーホルビア プルプレア 低木 2 m
花は暗赤色、葉の左右で20cm 黄花も有り



⑤ロース マクラタス 草丈20cm
花は赤黄色で上の先は赤に近い色です



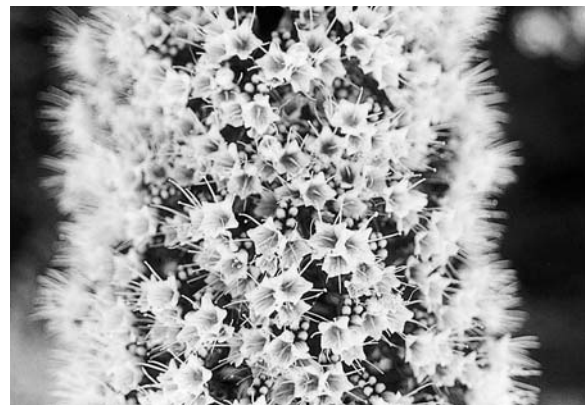
②ユーホルビア カナリエンシス 3 m
頂上は茶色の小花の集合です。



⑥エキウム (園芸種) 白花 草丈3 m
交叉点に有りました。下はパイナップル状



③タナセタム フェラセム 草丈30cm
花は白弁、黄芯です。花1つは2 cm



⑦エキウム ⑥のアップです。
花は2 cmで柱状の周囲にびっしり詰っています。



④ヘリクリサム ゴスピナム 草丈30cm
左右60cm、黄花で葉は緑に白い毛が一面に



⑧エキウム ワイルドブリティ 草丈3 m
赤花1分咲き、山の上なので20日ほど遅い。

「小さな！大いなる？挑戦」

岡山支部 曾 我 卓 也

早朝5時、東の空が薄明るくなり始めたころ、新しく購入したお気に入りのナイキのトレーニングウェアにシューズで、家を出ました。2月ということもあり、寒さが身にしみますが、澄んだ空気と静寂さが新鮮に感じられました。実に約7年ぶりになりますが、一念発起してマラソン大会にエントリーしました。距離は10km、そのためのトレーニングを開始したのです。

百間川市民健康マラソンという地元の小さな大会ですが、本番までは1カ月もありません。これまで運動らしい運動はしておらず、せいぜいたまにゴルフの打ちっ放しに行くぐらいしか体を動かすことがほとんどありませんでした。しかも年齢も40代半ば、お腹も出てきて、慢性的な運動不足に不規則な生活習慣と、コンディションとしては最悪な状態です。日ごろから運動されている先生方にとっては、とるに足らない小さなことかも知れませんが、トレーニング期間も短く、こういう状況でいきなり10kmのマラソン大会に出場することは、無謀な挑戦だと思う反面、自分にとっては大いなる挑戦という気もしました。

きっかけは、周囲の人の「開業したころはスリムで格好よかったのに、今では、二重あごにお腹が…」という何気ない言葉を耳にしたことでした。自分でも体脂肪やウエストサイズがかなりヤバいと気になり、体力も極度に落ちてきていることを実感していただけない、何とかしなきゃという気持ちがより強くなっていました。ちょうどそんな時、新聞のマラソン大会の案内に



目が止まりました。マラソン大会はいつでもあるからと挑戦を先延ばししようとするネガティブな心との葛藤もありましたが、このタイミングを逃すと、一生「お腹が出て格好わる～！」と言われ続け、二度とチャレンジするきっかけは訪れないような気がして決心しました。

トレーニングが続くかどうかは、自分自身の意志力のバロメーターといえるでしょう。スリムで健康な体と達成感を得られるか。まだ結果は出ていませんが、「何事も失敗をおそれずチャレンジすることに意義がある」と自分自身を叱咤激励することでモチベーションを高めています。これを機会に、これまでなかなか一步を踏み出せなかったことに一つひとつ挑戦していきたいと思います。

さあ、今日も走るぞ!!

次回は居樹秀明先生（岡山支部）をご紹介します。

第26回全日本歯科医師テニス大会開催のお知らせ

- 大会名 第26回全日本歯科医師テニス大会（東京）
- 主催 全日本歯科医師テニス連盟
- 主管 東京都歯科医師会硬式テニス部
- 後援 日本歯科医師会，東京都歯科医師会，歯科医師国民年金基金
東京都テニス協会，日本女子テニス連盟東京都支部
- 開催日時 2006年10月21日（土）AM 9：00～ ※一般男子ダブルスのみPM13：00～※
男子ダブルス <45歳以上>，<65歳以上>，<70歳以上>
<一般>※1R（コンソレ1R）のみ，
MIXダブルス <100歳未満>
女子ダブルス
2006年10月22日（日）AM 9：00～
男子ダブルス <一般>※2R以降，<55歳以上>，
MIXダブルス <100歳以上>
- 開催場所 有明テニスの森公園・屋外コート<A>16面（ハード）

例年と違いインターネット，お電話でのお申込みとなります。
お申込みの方・詳細ご希望の方は下記「スポーツエントリー」にご連絡ください。
「スポーツエントリー」 ホームページ <http://www.sportsentry.ne.jp>
TEL：0570－037－846

（大村満晴）

※こちら編集室※

平 「登場！」
田

基弘 世の中，苦しいときにはヒーローの登場を求めるものですが，私たちの世界もそういった状況にあらうかと思います。ちなみにわが街玉島には「愛するこの街並み，いとし人の笑顔」を守るために日々戦う“タマシマン”がいます。子供たちの間では密かなブームとなっており，我が家も例外ではありません（実は，エキストラ出演もしていたりして）。だんだんはまっていくというやつで，今では愛着を持って楽しんでいる。思うに，ヒーローというのは，皆でつくり出すものではないでしょうか？

会長選挙も無事終り，新会長のもと新県歯がスタートしようとしています。大きな期待がかかっています。「何とかならないの？」。まさにヒーローを待ちわびる子供たちの心境でしょうか。ただ，じっと待っていても現れないのがヒーロー。団結・協力してつくりあげる，そんな心意気が今私たちに求められているのではないのでしょうか。



訃

報



故 江口 満子 先生

享年92才（平成18年2月22日ご逝去）

倉敷市鶴形1-2-2

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

会員異動

2月末日現在 正会員数1,047名

◎死亡

江口 満子 正会員 P 25 倉敷支部

〒710-0056 倉敷市鶴形1-2-2

◎住所の異動

岩手県歯科医師会 P 76

[新] 〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通2丁目5-25

TEL (019) 621-8020

FAX (019) 654-5474

(P = 会員名簿の頁)

お知らせ

—〈岡山大学歯学部からのお知らせ〉—

「特別講演のご案内」

(第11回口腔外科再建系（旧第1口腔外科）セミナー）

講演タイトル：Implant Reconstruction：Reflections based on 24 year's experience.

(インプラント再建：24年の経験を振り返って)

講師：Dr Philip Worthington, MD, BDS, FDSRCS

日時：平成18年4月11日（火）17:00～18:30

会場：岡山大学歯学部4階 第一講義室

会費は無料ですので、当日直接会場にお越し下さい。

主催：岡山大学医学部・歯学部附属病院口腔外科（再建系） 菅原利夫

連絡先：電話 086-235-6697（植野，山近）

なお本講演は、日歯生涯研修事業の対象になっています。

事務局だより

4月の収納金

1. 本 会

- (1) 診療報酬割会費（社保、国保 1 月診療の窓口分を含む総診療費の

 $\frac{2.8}{1000}$ を社保分から控除)

- (2) 平成18年度本会会費第 1 期分 35,000円

- (3) 歯科医師賠償責任保険料 1 医療機関につき2,000円

2. 全国歯科医師国保組合

- (1) 収入割，均等割保険料調定額

- (2) 収入割保険料（平成17年支払いの窓口分を含む総診療費の
- $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$
- ）

3. 日本歯科医師会

- (1) 年金拠出金（5 月分）

2月 会の動き

1 日	日歯第 6 回予算決算特別委員会 (小林会長，奥野委員) 公衆衛生部正・副委員長会	13 日	選挙管理委員会
2 日	理事会 日本学校歯科医会普及第 1 委員会 (黒住常務) 保険医療関係機関連絡会議	14 日	日本学校歯科医会理事会 (黒住常務) 日本学校歯科医会加盟団体長会議 (小林会長，黒住常務) 学術部正・副委員長会及び図書委員会
3 日	本会歯科衛生学院運営協議会 編集委員会	15 日	日本学校歯科医会普及第 2 委員会 (黒住常務)
4 日	本会歯科衛生学院職員会議 感染予防講習会 (於 津山歯科医師会) 社会保険部検討委員会	16 日	理事会 国保連合会理事会 (原副会長) 岡山県へき地医療支援会議 (原副会長) 会長選挙在宅投票希望者申請締切り (正午)
5 日	文化事業部会レクリエーション「スキー・スノーシュー」	17 日	公衆衛生部委員会 会館運営部事業部会正・副委員長会 編集委員会 国民年金基金第32回代議員会 (渡里理事) 選挙管理会小委員会
6 日	会長選挙公示 会長選挙立候補届出受付開始 (11日まで) 選挙管理委員会	18 日	全国大会慰労会 本会監事会 予算・決算特別委員会 会長選挙立候補の辞退 (午後 5 時まで)
7 日	第24回北方領土返還要求岡山県民大会	19 日	文化事業部会レクリエーション「フラワーデザイン」 石津日出雄教授退職記念ならびに警察庁長官 賞受賞祝賀会 (小林会長，江口理事) 会長選挙立合演説会 (津山)
8 日	渉外部移動委員会 (三役)	20 日	岡山県医療審議会医療法人部会 (小林会長) 岡山社会保険事務局と面会
9 日	理事会 支払基金と国保連合会と打合せ		
10 日	都窪支部会 (小林会長，國遠副会長，酒井専務) 編集委員会		
11 日	選挙管理委員会 会長選挙立候補締切り (午後 5 時まで)		
12 日	会長選挙運動開始		

- | | | | |
|-----|--|-----|---|
| 20日 | 公衆衛生部小委員会
会長選挙立合演説会（総社） | 25日 | 選挙管理会小委員会
会長選挙運動締切り，区域外投票申請締切り
（正午）
会長選挙在宅投票（午後5時必着） |
| 21日 | 共済事業部会監査委員会及び委員会
社会保険部会
編集小委員会
岡山地方社会保険医療協議会（原副会長）
会長選挙立合演説会（倉敷） | 26日 | 会長選挙投票日
（各投票所で午前10時～午後6時）
即日開票
検死 |
| 22日 | 都道府県歯科医師会医療管理担当理事連絡協議会（渡里理事）
会長選挙立合演説会（岡山） | 27日 | 支払基金幹事会（小林会長）
山陽新聞事業社と打合せ
（おぎゃっと 平岩理事）
県保健福祉部次長と面会 |
| 23日 | 日歯理事会（小林会長）
第2回「中規模県歯科医師会連合会」 | 28日 | 広報部部会
広報部取材「小林会長インタビュー」
（黒住常務，東原編集長，石井委員，矢吹委員）
学術部正・副委員長会
公衆衛生部小委員会
裁定部委員会
岡山地方社会保険医療協議会（齋藤常務）
吉備支部社保講習会（西田理事） |
| 24日 | 第101回都道府県会長会議（小林会長）
日本学校歯科医会平成17年度加盟団体長会議（小林会長）
岡山県国民健康保険在宅医療等推進支援委員会及び健康日本21に関する研究会（國遠副会長）
個人情報保護法講演会（事務局）
本会歯科衛生学院教務会議 | | |
| 25日 | 文化事業部会委員会
医療管理部正・副委員長会 | | |

4月・5月 本会の予定

- | | | | |
|------|---------------------|-----|---------------------|
| 4月1日 | 編集委員会 | 18日 | 編集委員会 |
| 2日 | 岡山高等歯科衛生専門学院第49回入学式 | 19日 | 岡山高等歯科衛生専門学院第26回戴帽式 |
| 11日 | 編集委員会 | 21日 | 編集小委員会 |

4月・5月 支部の予定

- | | | | |
|------|------------------------------|------|-------------------|
| 4月1日 | 岡山歯科技工専門学院第33回入学式 | 25日 | 岡山支部第2回理事会 |
| 5日 | 御津支部理事会 | 26日 | 津山支部理事会 |
| 6日 | 津山支部例会 | 5月8日 | 新見支部理事会 |
| 7日 | 児島支部定例理事会 | 9日 | 岡山支部第3回理事会 |
| 8日 | 笠岡歯科技工専門学校第41回入学式
笠岡支部理事会 | 11日 | 津山支部例会
玉島支部役員会 |
| 11日 | 岡山支部第1回理事会
新見支部理事会 | 17日 | 都窪支部理事会 |
| 12日 | 玉野支部理事会 | 18日 | 勝・英支部定例会 |
| 13日 | 玉島支部役員会 | 20日 | 玉野支部総会 |
| 22日 | 御津支部総会
都窪支部総会 | 22日 | 津山支部理事会 |
| | | 23日 | 岡山支部第4回理事会 |

大幅・複雑に改正される 診療報酬内容が即理解できる！

新設項目に伴って必要となる病名・症状・治療内容・治療期間などに関する一連の治療計画・指導内容・提供文書まで一挙掲載！

全科実例
による

社会保険歯科診療

平成18年 4月版

歯科保険研究会／編

■A4判・880頁・2色刷 別冊(CD-ROM付)付
■定価9,450円(本体9,000円+税5%) ISBN4-263-45494-4

予約殺到！



- 新設項目についてはより多くの症例で具体的に解説
- 傷病名だけでなく患者の症状別に検索できる
- 請求上、疑問が生じやすい項目はチェック印をつけてワンポイント解説
- Q&A項目を充実し、読者の疑問に的確に対応
- 付録の別冊には、診療報酬請求書、明細書の記載要領、ガイドラインなどを収載
- CD-ROMには、患者さんへの治療経過などの提供文書、診療情報提供文書など(対医療者用)、各種届出用紙を収載

真の意味の Minimal Intervention を実現した 21世紀の保存修復・歯冠修復とは？

歯科臨床のエキスパートを目指して

第2期配本

ボンディッドレストレーション

山崎長郎／監修

4月発売予定・予約受付中！

6～10巻セット

より低い侵襲性・より高い審美性のための画期的臨床書！



- ◆6巻 トゥースホワイトニング 土屋賢司・北原信也／編
- ◆7巻 コンポジットレジンレストレーション 西川義昌・天川由美子／編
- ◆8巻 ポーセレンインレー・アンレーレストレーション 岡口守雄・南 昌宏／編
- ◆9巻 ポーセレンラミネートベニアレストレーション 山崎長郎・大河雅之／編
- ◆10巻 オールセラミッククラウン・ブリッジレストレーション 日高豊彦・土屋賢司／編

- 第1期配本「コンベンショナルレストレーション1～5巻」で整理した修復治療のための診査・診断をベースに、歯科臨床を180度変えたデンティンボンディングによる修復治療の全貌を初めて体系的に整理・展開！
- 21世紀において実現した真の意味の「Minimal Interventionの修復治療」の診査・診断から歯質除去・接着・修復の処置全体までを、オリジナリティーあふれる発想と斬新なビジュアル構成で示した、全5冊の画期的臨床書！

■6～10巻セット+別冊箱入り
■各巻A4判変型・120頁・オールカラー ■セット定価38,850円(本体37,000円 税5%)
■発売記念特価(2006年5月末まで) 35,700円(本体34,000円 税5%)

弊社の全出版物の詳細情報はホームページでご覧いただけます。 <http://www.ishiyaku.co.jp/>



医歯薬出版株式会社／〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10／TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633

2006年3月作成 TP

タマキ



なによりも継続する心を大切に。

自然はつねに変わらない静寂の姿の中にも、
着実に年輪を刻みながら生きています。
悠久の時の流れのなかで、いつまでも継続して生きていく。
そこに偉大な生命の本質があるようです。
タマキが一番大切にしたいのも、そんな継続する心です。
私たちは今日まで75年間、歯科器材一筋に先生方のお役に立ちたいと
願ってまいりました。その気持ちをこれからも継承して、
さらなる歴史を刻んでおります。

御得意様に御満足頂くことがタマキの最大の願いです

株式会社 **玉井歯科商店**

- 〒790-0011 松山店 松山市千舟町8-67-8
☎089(941)1619
- 〒760-0073 高松店 高松市栗林町3-4-1
☎087(831)4491
- 〒745-0071 徳山店 周南市岐山通り2-21
☎0834(21)0400
- 〒751-0875 下関店 下関市秋根本町1-5-33
☎0832(56)0330
- 〒683-0802 米子駐在所 米子市東福原6-2-32
☎0859(23)3108

- 〒734-0014 広島店 広島市南区宇品西1-6-2
☎082(251)1911
- 〒720-0805 福山店 福山市御門町2-4-37
☎084(923)5867
- 〒700-0925 岡山店 岡山市大元上町12-19
☎086(244)3429
- 〒690-0044 松江店 松江市浜乃木2-4-27
☎0852(27)1916

■協賛 中国歯科用品商協同組合岡山県支部

- | | |
|------------------|-----------------|
| (有) 飯田歯科商店 | イワサキ歯科器材 |
| (有) 吉川歯科商店 | (有) 木村歯科商会 |
| クロズミ | (有) 三和歯科材料 |
| (有) 志茂歯科材料店 | (有) 鈴木歯科商店 |
| (有) 土居歯科機材商会 | (株) 東美屋歯科商店 岡山店 |
| (株) マルミ歯科商店 岡山支店 | (株) 三宅歯科商店 |
| 三宅歯科商店 東店 | 守屋歯科商店 |
| (有) 安原歯科商会 | ヤヤマデンタルサービス |
| (株) リンケー ジ 藤波 | |



NEW

新製品

WiseStaff 4

歯科用総合コンピュータシステム

With Solutions of Extended problems

もっと先へ。未来が始まる予感

デンタルオフィスの未来を見つめて、WiseStaff-4が新しいステップを踏み出します。

オープンコンセプトが実現する、快適環境

- ❗ 「WiseStaff-4」では、各社デジタルX線システムとの連携や、他のアプリケーションソフトとの連携が更に拡張しました。
- ❗ クライアントに専用のコンピュータを必要とせず、OSがWindowsでもMacintoshであっても端末として使用できます。お手持ちのコンピュータをクライアントにすれば、他のアプリケーションソフトと並行して使用でき、各医院のスタイルに合った快適環境を実現します。



NHOSA 株式会社 **ノーザ**

〒164-0011 東京都中野区中央1-21-4 (ノーザビル)
TEL.03-5348-1881 (代) FAX.03-5348-1885

<http://www.nhosa.com>

●北海道営業所 TEL.011-622-8041 FAX.011-622-8045
 ●茨城営業所 TEL.029-233-2882 FAX.029-233-2886
 ●埼玉営業所 TEL.048-645-2821 FAX.048-645-2830
 ●東京支店 TEL.03-5348-3381 FAX.03-5348-3385
 ●神奈川営業所 TEL.045-909-5781 FAX.045-909-5821

●名古屋支店 TEL.052-332-0327 FAX.052-332-1028
 ●大阪支店 TEL.06-6536-2187 FAX.06-6536-2287
 ●神戸営業所 TEL.078-367-5801 FAX.078-367-5805
 ●広島営業所 TEL.082-293-7618 FAX.082-293-7622
 ●福岡営業所 TEL.092-474-1777 FAX.092-474-4186

※記載内容は予告無く変更する場合がありますのでご了承ください。 ※Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。 ※Macintoshは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。 ※記載されている社名及び製品名は、各社の登録商標及び商品名です。 ※「WiseStaff」は、(株)ノーザの登録商標です。 ※接続メーカーにより操作性や内容及び制限が異なりますので、詳細は当社営業までお問い合わせ下さい。 ※OS及びハードに一部制限がありますので、詳細は当社営業までお問い合わせ下さい。

NHOSANI1222004



平成17年 同、鴨方往来